

**GRiddy**

**PROtec-B SPEC**



## 取扱説明書

ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みになり、理解された上で正しくお使い下さい。

## はじめに

この度は、GReddy PProtec B SPECをお買上げくださりまして誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、GReddy PProtec B SPECを初めてお使い頂く方ももちろん、すでにお使いになられた経験をお持ちの方にも、知識や経験を再認識する上でお役に立つものと考えております。

この取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解された上で実際にお使い下さいますようお願い申し上げます。

又、この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるように車内に保管されることをお勧め致します。

尚、本製品は競技専用部品です。公道では道路交通法等の法規に準じた走行が義務付けられます。

### ◆お客様と製品とのかかわり合い◆

必ずお読み下さい

車とその取り扱い方法は、各自動車メーカーの、お客様に対しての安全と快適な生活に関する、不断の研究開発の結果として生み出されたものです。

弊社の製品は、このような車に、更なる性能や利便性を付加することが出来ると考えております。

弊社もまた、お客様に製品を安全にかつ快適にお使い頂く為に、不断の努力をしておりますが、製品の持つ特性上、その性能や利便性と引き替えに、自動車メーカーの提供する安全が確保出来なくなる場合があります。

その様な場合に必要な、安全に対する配慮と判断は、すべてお客様ご自身の責任でお考え頂くなくてはなりません。

お客様の車と弊社の製品を、安全にかつ快適にお使い頂く為にも、**製品を取り付ける車の取扱説明書を合わせて、よくお読みになり、十分に理解された上でお使い下さい。**

はじめに	.....	P 1
お客様と製品とのかかわり合い	<b>必ずお読み下さい</b> .....	P 1
1. 安全・取り扱いに関するご注意	<b>必ずお読み下さい</b> .....	P 3 ~ P 6
2. 部品構成	.....	P 7 ~ P 8
3. 本製品の特徴	.....	P 9
4. 取り付け方法・配線方法	.....	P 10 ~ P 25
4-1. 配線・配管全体図	.....	P 11 ~ P 12
4-1-1. アクチュエータ (スイングバルブ) タイプ	.....	P 11
4-1-2. ウエストゲート (ポペットバルブ) タイプ	.....	P 12
4-2. モーター部の取り付けと配管方法	.....	P 13
4-2-1. モーター部の取り付け方法	.....	P 14
4-2-2. アクチュエータ(スイングバルブ)タイプの車両の配管	.....	P 15 ~ P 18
4-2-3. ウエストゲート(ポペットバルブ)タイプの車両の配管	.....	P 19
4-3. 配線方法	.....	P 20 ~ P 21
4-4. コントローラー部の取り付け方法	.....	P 22
4-5. コントローラー部の配管方法	.....	P 23
4-6. セレクターの設定	.....	P 24
4-7. ハンダ付けのやり方	.....	P 24
4-8. 取り付けの最終仕上げ	<b>必ずお読み下さい</b> .....	P 25
5. 操作方法	.....	P 26
5-1. 各部の名称	.....	P 27 ~ P 28
5-2. 取り付け後の操作の流れ	.....	P 29
5-3. ブーストコントロール機能	.....	P 30
5-3-1. LO. BOOSTモード使用方法	.....	P 31
5-3-2. HI. BOOSTモード使用方法	.....	P 31
5-4. セット方法	.....	P 32 ~ P 34
5-4-1. オーバーシュート発生時には	.....	P 35
5-4-2. ハンチング発生時には	.....	P 36
5-4-3. よりブーストの立ち上がりを重視したセッティング	.....	P 37
5-5. オーバーシュートモード	.....	P 38
5-6. ポリウム設定の早見表	.....	P 39
5-7. セット方法の早見表	.....	P 40 ~ P 42
5-8. 2WAY BOOSTモード設定の早見表	.....	P 43
6. トラブルシューティング	.....	P 44
7. アフターサービスについて	.....	P 45



製品を安全にお使い頂くには、正しい取り付けと正しい操作が不可欠です。

この取扱説明書、ならびに、取り付ける車両の取扱説明書に示されている安全に関する注意事項をよくお読みになり、十分に理解された上でお使い下さい。

又、この取扱説明書に書かれていない取り扱いをされる場合に必要な、安全に対する配慮は、お客様ご自分の責任でお考え頂くことになります。

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を、未然に防ぎ、本製品を安全にお使い頂くために、守って頂きたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよくお読みになり、十分に理解された上でお使い下さい。

 <b>警 告</b>	もし、お守り頂かないと、 <b>生命の危機</b> 、又は、 <b>重傷を負う人身事故につながる恐れのある</b> 注意事項です。
 <b>注 意</b>	もし、お守り頂かないと、製品だけでなく <b>自動車や設備の破損・故障につながる恐れのある</b> 注意事項です。
<b>お 願 い</b>	製品を正しくお使い頂くために、 <b>必ず守って頂きたい</b> 注意事項です。
<b>重 要</b>	製品を正しくお使い頂くために、 <b>知っておいて頂きたい</b> 注意事項です。

**警告**

- ⚠ 取り付け車両を扱う場合は、取り付け車両付属の取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全に運転、管理して下さい。自動車は、誤った扱い方をすると、**思わぬ人身事故等を引き起こす恐れがあります。**
- ⚠ 本製品の取り付け作業を行う際は、必ずエンジンが冷えてから行って下さい。エンジン停止直後は、**エンジンやエンジンの周りの配管は高温になっており、火傷等をする恐れがあり大変危険です。**
- ⚠ 付属のホースは燃料ラインとしては絶対に使用しないで下さい。重大な人身事故を引き起こす危険があります。
- ⚠ 必ず自動車の下に燃えやすい物がないことを確認してから、停車、駐車して下さい。自動車の排気部分は高温になり、エンジンを動かしたまま枯れ草等の燃えやすい物の上に停車や駐車すると、**火災の危険があります。**
- ⚠ 必要な時以外は、必ずエンジンを停止して下さい。マフラーのテールパイプからは、有毒な成分が含まれた排気ガスが排出され、締め切った車庫や倉庫の中でエンジンを動かし続けると、**一酸化炭素中毒になる恐れがあります。**やむを得ず、エンジンを動かす時は、屋外、又は窓を開け換気扇等を回し、**新鮮な外気を取り入れられる場所で作業して下さい。**
- ⚠ 車の中で休憩や仮眠をとる時は、必ずエンジンを停止して下さい。エンジンが動いたまま停車、又は駐車して、休憩や仮眠をとると、**排気ガスによる一酸化炭素中毒になる恐れがあります。**
- ⚠ 本製品の取り付け・配線作業は、本来、専門の教育を受けた整備士が行うべき作業です。**専門外の方が作業されると、事故やけが・火傷の可能性があり危険です。**
- ⚠ 取り付け箇所・取り付け方法は慎重に検討し、絶対に脱落や運転の妨げにならないようにして下さい。誤った取り付け箇所・取り付け方法は、**車両破損の原因や運転の妨げになる可能性があり大変危険です。**
- ⚠ 運転中は、絶対にコントローラーの操作をしないで下さい。**思わぬ人身事故等を引き起こす恐れがあります。**
- ⚠ 本製品を取り付けた車両を他の人に、貸し出し・譲渡する場合は、必ず本製品が取り付けられていることを知らせ、**この取扱説明書と保証書も必ず渡して下さい。**
- ⚠ 車両を発進させる時は、必ず周りに何も無いことを確認して下さい。不用意に発進させると、**思わぬ人身や物損の事故等を引き起こす恐れがあります。**
- ⚠ ハンダゴテ・ニッパー等の工具を使用する場合は、工具付属の取扱説明書をよくお読みの上、注意事項等を守り正しくお使い下さい。これらの工具は、**誤った使い方をすると、けが、火傷等を引き起こす恐れがあります。**

- ⚠ 作業終了後は、必ず運転席の足元に何も無いことを確認して下さい。運転席の足元に空き缶や使用した工具等があると、ブレーキペダルの下にはさまり、ブレーキ操作が出来なくなる等の恐れがあり大変危険です。

## ⚠ 注 意

- ⚠ 本製品を取り付けて、ノーマルブースト以上に過給圧を上げる場合、ブーストの上げすぎには十分に注意して下さい。また、ノーマルブースト以上に上げた分の燃料は増量されませんので、Rebic等を取り付けて、必ず燃料を補い、燃料の調整を行って下さい。ブーストの上げすぎ、燃料等の調整不良は、エンジン破損等を引き起こす可能性があります。本製品の使用によって引き起こされたエンジンの破損等の損害に関しては当社は一切の責任を負うことが出来ません。ご使用されるエンジンの仕様にあった調整を行って下さい。
- ⚠ 本製品はブーストを2.0kg/cm<sup>2</sup>以上に上げることは出来ません。ブーストを2.0kg/cm<sup>2</sup>以上に上げる場合は、GReddy PRofec(定価¥59,500)をお奨め致します。
- ⚠ 本製品を取り付けて、セッティングを行う際は、必ず、GReddy ターボメーター等を取り付けて、ブースト値を確認しながら、セッティングを行って下さい。
- ⚠ 車種により、過給圧を上げると燃料カットをする車種があります。このような車種には、BOOST CUT CONTROLLER等を取り付けて燃料カットが入らないようにして下さい。尚、燃料カットをする車種の取り扱い、調整等については、お買い上げ店、又は、弊社までご相談下さい。
- ⚠ 本製品の取り付けには、車両の内外装、および電装系の加工、取り外し等の作業がともないます。当社は、これらの作業による物的損害の責任を負うことは出来ませんので、慎重に作業を進めて下さい。
- ⚠ 配線作業を行う時は、必ずキーシリンダーからキーを抜き、バッテリーのマイナス端子を外して下さい。配線作業中に電流が流れると、ショートする可能性があり、危険です。
- ⚠ くれぐれも、誤配線、ショートはさせないで下さい。本製品だけでなく取り付け車両の電装系等まで破損させる恐れがあります。
- ⚠ ハンダ付けにて配線を接続した場所は、必ずビニールテープ等を巻き、絶縁して下さい。
- ⚠ 配管する際は、ゴムホースが抜けないように、接続部分をホースバンドで固定する事をお勧めします。

- ⚠ 本製品を絶対に分解しないで下さい。ケース破損や故障の原因となるだけでなく、保証の対象外となります。
- ⚠ 本製品は、湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や、ヒーターの吹き出し口等、高温になる所、又その近くには取り付けしないで下さい。誤作動の原因となります。

## お 願 い

- ・バッテリーのマイナス端子を外すと、メモリー機能を持った時計、オーディオ類、ナビゲーションシステム、および電動シート等、記憶内容が消去される物があります。作業前に、車両、及び各製品の取扱説明書で確認した上で作業を始めて下さい。作業終了後、それぞれの取扱説明書に従って、設定し直して下さい。
- ・本製品は、精密機器の為、落としたり強い衝撃を与えたりしないで下さい。
- ・本製品をお買上げ後、7～8ページのパーツがあることをご確認下さい。
- ・新品をお買上げの時点で、保証書の製品番号と本体付属の製品番号が異なっている場合は、お手数ですが、お買上げ店、又は弊社までご連絡下さい。故障等、修理が必要となった際、保証書と本体付属の製品番号が異なっていると、保証の対象外となる場合がございます。
- ・両面テープを貼る面は、中性洗剤を使って、よごれ、油分をよく拭き取って下さい。
- ・本製品のお手入れの際は、乾いた布で拭いて下さい。汚れのひどい場合は、少量の水をつけ固く絞った布で拭いてください。ベンジン、シンナー類を使用すると、ケースや塗装が変質しますので絶対に使用しないで下さい。
- ・本製品は改良のため、予告なく仕様変更する場合がありますのでご了承下さい。
- ・本製品の輸出、使用営業及び賃貸を禁じます。For Sale and Use in Japan Only.
- ・本製品に関するご不明な点等がございましたら、弊社までお問い合わせ下さい。(住所電話番号は下記記載。45ページにも記載。)

## 重 要

- ・本製品は競技専用部品です。公道では道路交通法等の法規に準じた走行が義務付けられます。

## 作 業 者 の 方 へ お 願 い

- ・取り付け作業が終了しましたら、本取扱説明書は保証書と合わせて、必ずお客様に返却して下さい。

その他、各項目ごとに注意事項を掲載しておりますので、必ずお読み下さい。

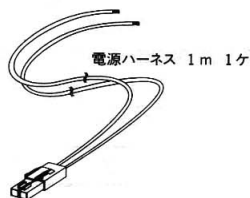
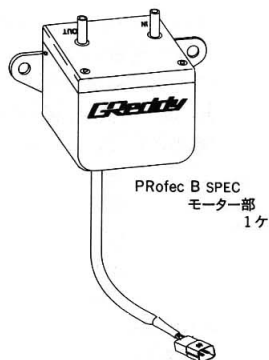
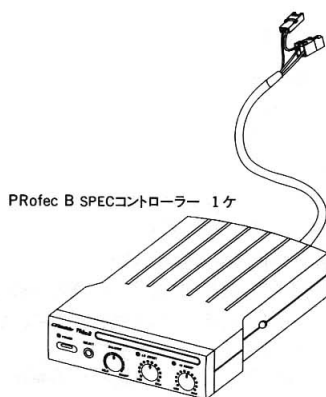
株式会社トラスト 本社

〒289-16 千葉県山武郡芝山町大台3155番5 TEL.0479(77)3000

## 2. 部品構成

### お 願 い

- ・ 本製品をお買い上げ後、次の物があることをご確認ください。又、保証書の製品番号と本体付属の製品番号が、同じであることをご確認ください。





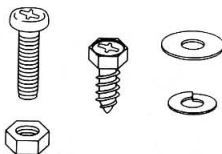
## 2. 部品構成



コントローラー取り付け用ネジ  
(M5タッピングビス、M5平ワッシャー) 2セット



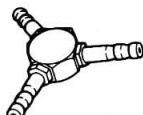
φ6ホースバンド 3ヶ



モーター部取り付け用ネジ  
M6ネジセット 2セット  
M6タッピングビスセット 2セット



φ6アダプター 1ヶ



スリウェイジョイント 1ヶ



タイラップ  
(15cm 5本、20cm 3本)  
計 8本



コントローラー取り付けステー用  
両面テープ 1セット



コントローラー取り付けステー 1ヶ



コントローラー取り付けステー固定用  
ローレットネジ 2ヶ



保証書 1部



取扱説明書(本書) 1部



調整用ドライバー 1ヶ

最低限必要な工具	確実に取り付ける際に必要な工具
<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライヤー</li> <li>・ニッパー</li> <li>・+ドライバー</li> <li>・10mmのスパナもしくはレンチ</li> <li>・テスター (15V以上計れるもの)</li> <li>・ハンダゴテ、ハンダ、絶縁テープ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キリもしくはドリル</li> <li>・布、中性洗剤、水</li> </ul>
	セッティングに最低限必要な物
	GReddy ターボメーター等の ブースト計

上記部品・個数に相違がある場合は、必ず装着前にお買上げ店、又は弊社までご連絡下さい。(住所・電話番号は最終ページに記載。)

### 3. 本製品の特徴

- ・本製品は、ターボチャージャー搭載車両に対して、ノーマルブースト圧以上の過給圧をかける場合に、簡単、且つ、確実に過給圧をコントロールする過給圧制御装置です。
- ・大容量、且つ、高性能ソレノイドバルブを搭載したことにより、設定ブーストに対して鋭敏に、そして、正確にブーストコントロールを行います。
- ・LO. BOOST, HI. BOOSTの2WAY BOOSTモードを設定したことにより、セレクトボタン、又は、外部リモコンスイッチ（オプション）を押すことで、走行状況に応じた走りを選択出来ます。
- ・BALANCEポリュームを調整することにより、ブーストの立ち上がりや安定性を良くすると共に、各車種ごとの仕様や特性に合わせた細かなセッティングを行うことが出来ます。
- ・セレクターの切り替えだけで、アクチュエータ（スイングバルブ）タイプ、ウエストゲート（ポペットバルブ）タイプの両方式に対応できます。
- ・1/4DINの大きさとなっているので、オーディオコンソールにもピッタリと収まるコンパクト設計です。

#### ⚠ 注 意

- ⚠ 本製品はブーストを $2.0\text{kg}/\text{cm}^2$ 以上上げることは出来ません。ブーストを $2.0\text{kg}/\text{cm}^2$ 以上上げる場合は、GReddy PRofec（定価¥59,500）をお奨め致します。

## 4. 取り付け方法

次の注意事項をよくお読みの上、取り付け作業を始めて下さい。

### ⚠ 警告

- ⚠ 本製品の取り付け・配線作業は、本来、専門の教育を受けた整備士が行うべき作業です。専門外の方が作業されると、事故、けが、火傷、誤配線によるショート等の可能性があります。**危険です。**
- ⚠ 本製品の取り付け作業を行う際は、必ずエンジンが冷えてから行って下さい。エンジン停止直後は、エンジンやエンジンの周りの配管は高温になっており、火傷等をする恐れがあります。**大変危険です。**
- ⚠ ハンダゴテ・ニッパー等の工具を使用する場合は、工具付属の取扱説明書をよくお読みの上、注意事項等を守り正しくお使い下さい。これらの工具は、誤った使い方をすると、けが、火傷等を引き起こす恐れがあります。
- ⚠ 取り付け箇所・取り付け方法は慎重に検討し、絶対に脱落や運転の妨げにならないようにして下さい。誤った取り付け箇所・取り付け方法は、車両破損の原因や運転の妨げになる可能性があります。**大変危険です。**

### ⚠ 注意

- ⚠ 配線作業を行う時には、必ずキーシリンダーからキーを抜き、バッテリーのマイナス端子を外して下さい。配線作業中に電流が流れると、ショートする可能性があります。**危険です。**
- ⚠ 必ず、配線方法をよくお読みになり理解された上で、配線して下さい。誤配線は、本製品だけでなく取り付け車両の電装系等まで破損させる原因となります。
- ⚠ 配管する際は、ゴムホースが抜けないように、ホースバンドで確実に固定する事をお勧めします。
- ⚠ ハンダ付けにて配線を接続した場所は、必ずビニールテープ等を巻き絶縁して下さい。
- ⚠ 本製品は、湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や、ヒーターの吹き出し口等、高温になる場所、又その近くには取り付けしないで下さい。誤作動の原因となります。

### お 願 い

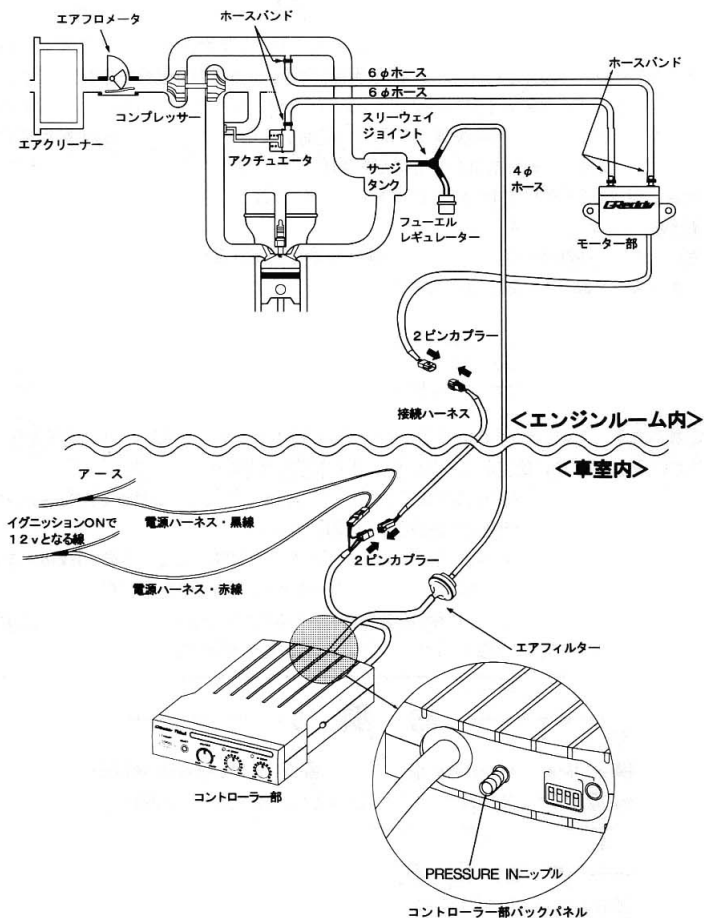
- ・過給圧制御用ソレノイドバルブ付の車両に本製品を取り付ける場合は、過給圧制御用ソレノイドバルブへの配管を外して本製品を取り付けて下さい。(17～18ページ参照)

### 作 業 者 の 方 へ お 願 い

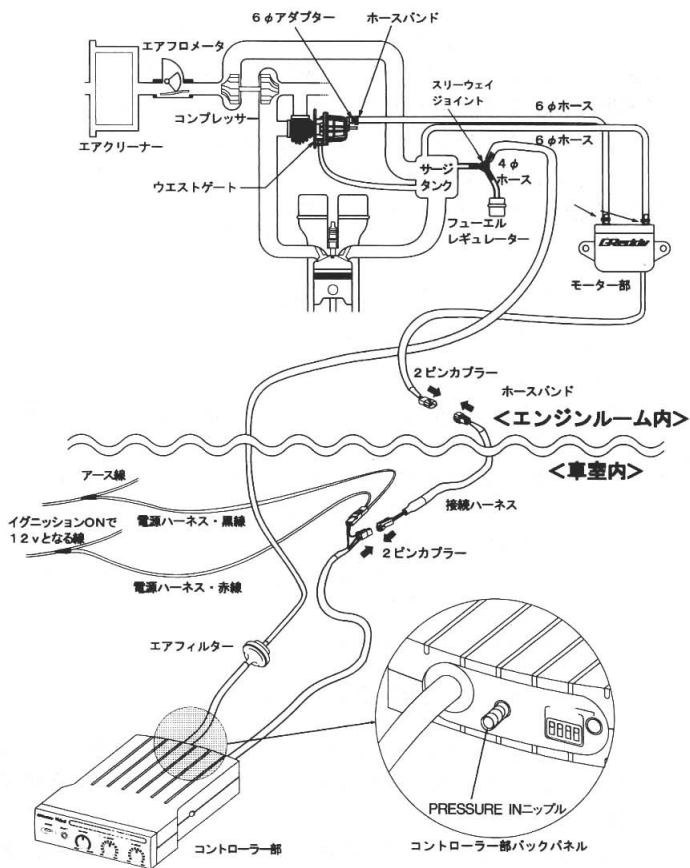
- ・取り付け作業が終了しましたら、本取扱説明書は保証書と合わせて、必ずお客様に返却して下さい。

## 4-1-1. 配線・配管全体図 アクチュエータ(スイングバルブ)タイプ

◎過給圧制御用ソレノイドバルブ付の車両へ取り付ける場合は、17～18ページを参考にして取り付けて下さい



## 4-1-2. 配線・配管全体図 ウエストゲート(ポペットバルブ)タイプ



## 4-2. モーター部の取り付けと配管方法

### 警告

- ⚠ 本製品の取り付け作業を行う際は、必ずエンジンが冷えてから行って下さい。エンジン停止直後は、エンジンやエンジンの周りの配管は高温になっており、火傷等をする恐れがあり大変危険です。
- ⚠ 取り付け箇所・取り付け方法は慎重に検討し、絶対に脱落や運転の妨げにならないようにして下さい。誤った取り付け箇所・取り付け方法は、車両破損の原因や運転の妨げになる可能性があり大変危険です。

### 注意

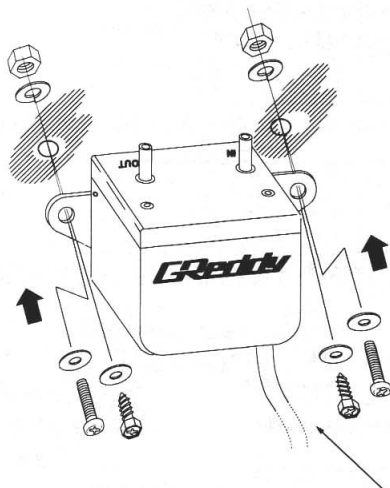
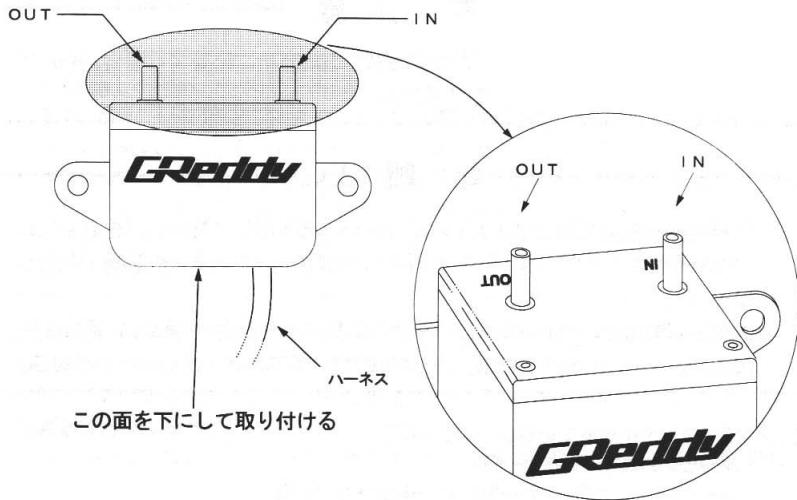
- ⚠ モーター部は、排気管周り等の高温となる場所を避け、エアクリーナーの周り等、風通しの良い場所に取り付けて下さい。誤作動の原因となります。
- ⚠ モーター部は、水や油が入り込まないように、配線のある面を下にして、取り付けて下さい。(右ページの図参照)
- ⚠ 6φホースをモーター部に接続する箇所は、ホースバンドで確実に固定して下さい。又、純正のホースを外して、新たにホースを配管する箇所も純正でついていたホースバンドを使用して確実に固定して下さい。
- ⚠ ホースを配管する際は、ホースがつぶれたり、よじれたりしないように注意して下さい。

### お願い

- ・ 付属のホースには限りがありますので、ホースの取り回しや長さをよく検討した上で作業を始めて下さい。又、配管する際は、付属のホースの長さの範囲で配管して下さい。
- ・ 過給圧制御用ソレノイドバルブ付の車両に本製品を取り付ける場合は、過給圧制御用ソレノイドバルブへの配管を外して取り付けて下さい。(17～18ページ参照)

## 4-2-1. モーター部の取り付け方法

※モーター部の各部名称と取り付ける向き



※高温となる場所は避け、  
風通しの良い場所に取り  
付けて下さい。

※必要に応じてどちらかを  
選んで下さい

配線の出ている面を  
下にして取り付け。

## 4-2-2. アクチュエータ(スイングバルブ)タイプの車両の配管

### ⚠ 注意

⚠ 純正のホースにホースバンドが使用されていた箇所に配管する場合、純正のホースバンドも使用して配管して下さい。

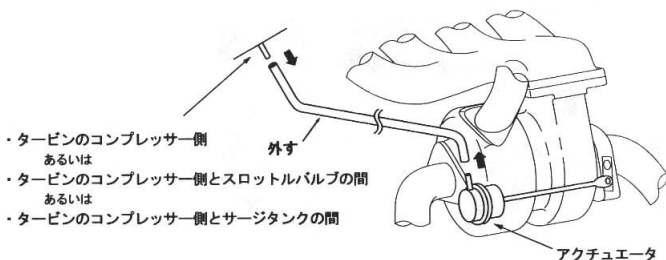
### お願い

- ・ 付属のホースには限りがありますので、ホースの取り回しや長さをよく検討した上で作業を始めて下さい。又、配管する際は、付属のホースの長さの範囲で配管して下さい。
- ・ 過給圧制御用ソレノイドバルブ付の車両に本製品を取り付ける場合は、過給圧制御用ソレノイドバルブへの配管を外して取り付けて下さい。(17～18ページ参照)

#### ①. アクチュエータから出ているホースをたどり

- ・ タービンのコンプレッサー側
- ・ タービンのコンプレッサー側とスロットルバルブの間
- ・ タービンのコンプレッサー側とサージタンクの間

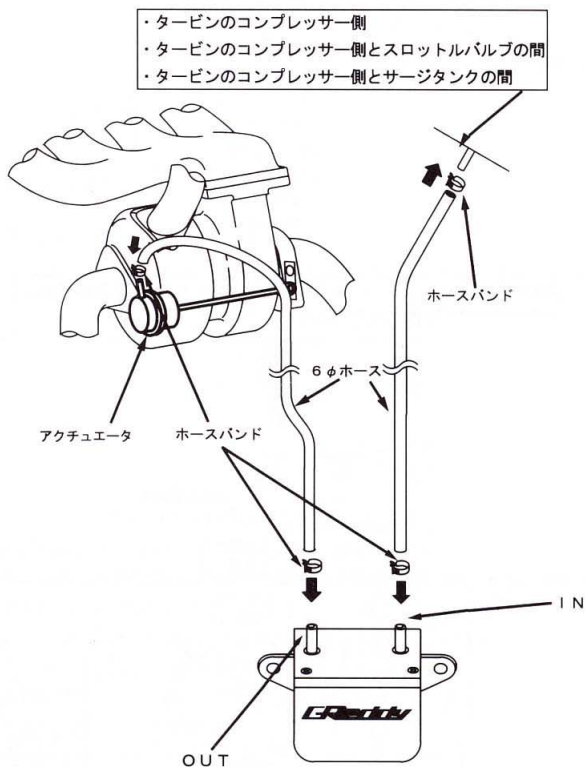
のどれかに配管されているホースを探し、外します。



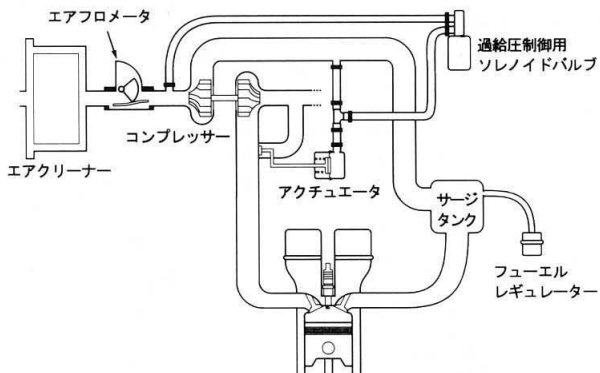


## 4-2-2. アクチュエータ(スイングバルブ)タイプの車両の配管

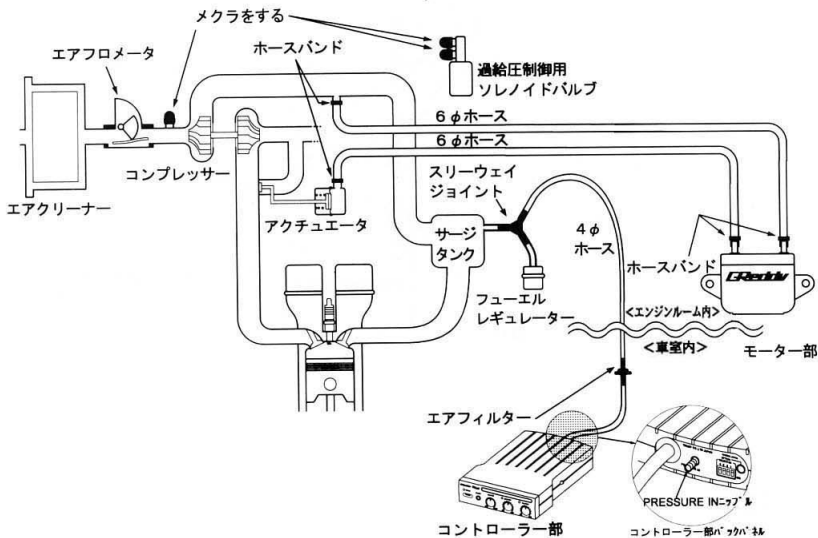
②. 下記の図を参考に、付属の6φホースを使用して配管します。



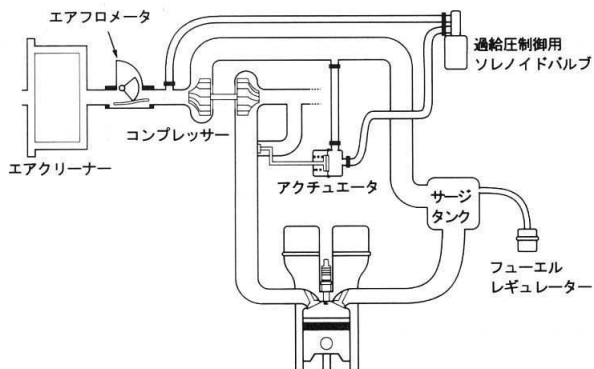
## 4-2-2. アクチュエータ(シングバルブ)タイプの車両の配管



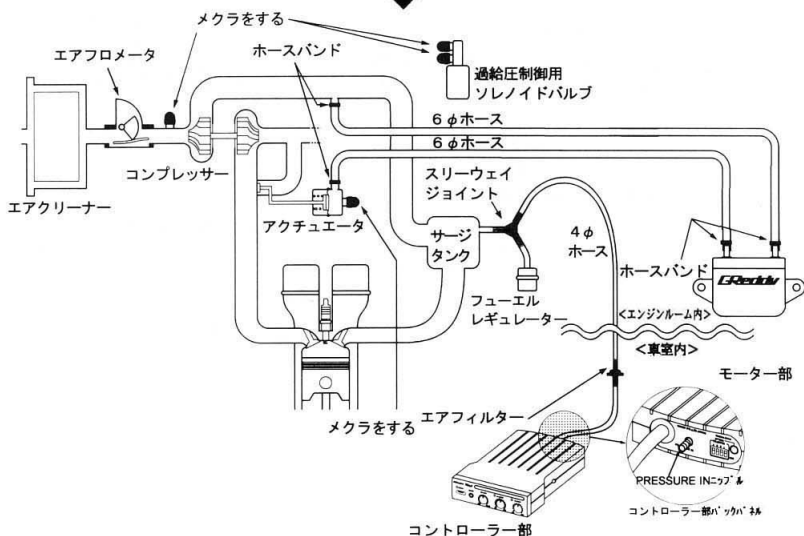
過給圧制御用ソレノイドバルブがこのような配管の車両は、  
下図を参考に配管して下さい。



## 4-2-2. アクチュエータ(スイングバルブ)タイプの車両の配管



過給圧制御用ソレノイドバルブがこのような配管の車両は、  
下図を参考に配管して下さい。

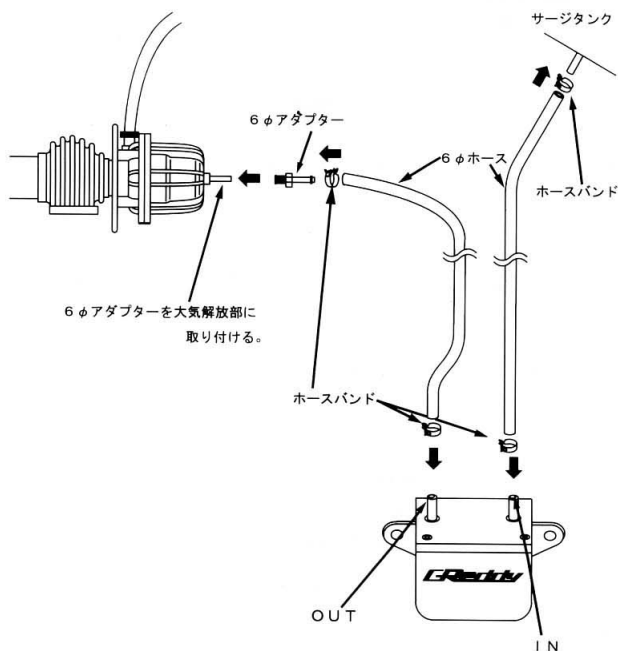


### 4 - 2 - 3. ウェストゲート(ポペットバルブ)タイプの車両の配管

## お 願 い

- ・ 付属のホースには限りがあります。ホースの範囲内でホースの取り回しや長さをよく検討した上で作業を始めて下さい。又、配管する際は、付属のホースの長さの範囲で配管して下さい。
- ・ 純正のホースにホースバンドが使用されていた箇所に配管する場合、純正のホースバンドも使用して配管して下さい。

- ①. ウェストゲートの大気解放部に、付属の6φアダプターを取り付けます。
- ②. 下記の図を参考に、付属の6φホースを使用して配管します。



## 4-3. 配線方法

次の注意事項をよくお読みの上、配線作業を行って下さい。

### ⚠ 警告

- ⚠ ハンダゴテ・ニッパー等の工具を使用する場合は、工具付属の取扱説明書をよくお読みの上、注意事項等を守り正しくお使い下さい。これらの工具は、**誤った使い方をすると、けが、火傷等を引き起こす恐れがあります。**

### ⚠ 注意

- ⚠ カプラーを接続する際は、確実に差し込んで下さい。接続不良は誤作動の原因となります。
- ⚠ 絶対にショートさせないで下さい。車両の電装系を破損させる恐れがあります。
- ⚠ 必ずバッテリーのマイナス端子を外してから作業を行って下さい。

### お願い

- ・電源ハーネスの配線は、ハンダ付けで確実にを行い、絶縁テープを巻いて下さい。

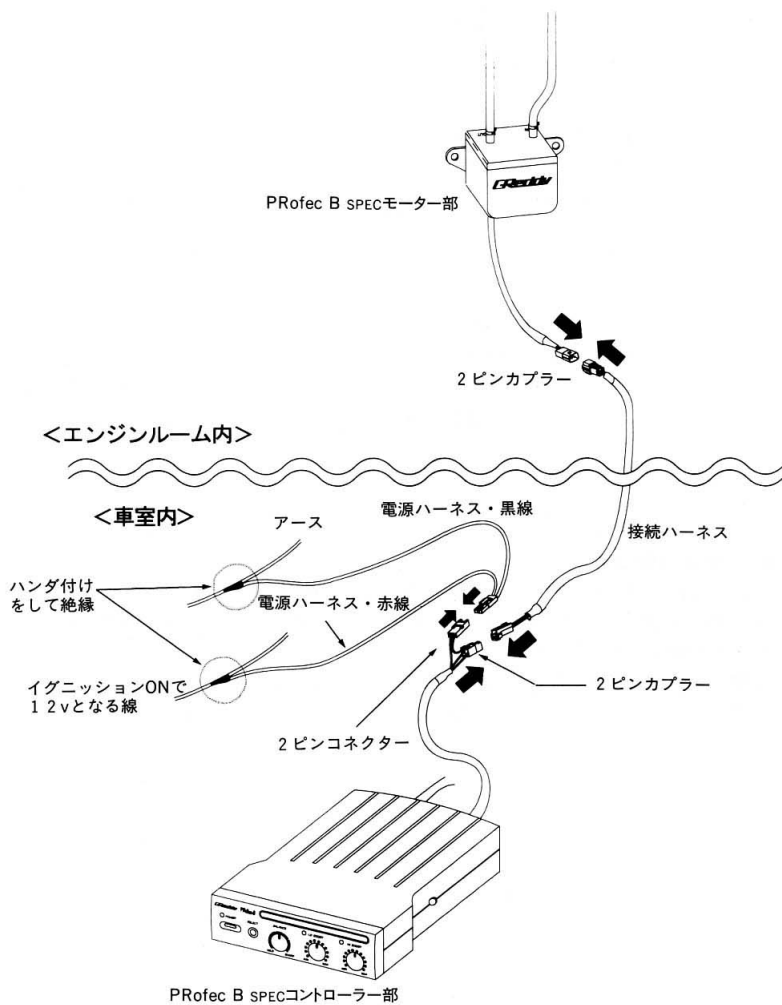
#### 接続ハーネスの配線方法

- ① エンジンルームの仕切り板に接続ハーネスを通せる穴を見つけるか、ない場合には穴を開け接続ハーネスを通します。穴の切り口は、必ずグロメット等を使用し接続ハーネスを保護して下さい。
- ② 接続ハーネスを遊ばないように付属のタイラップで固定します。
- ③ 接続ハーネスの2ピンカプラーをモーター部の2ピンカプラーへ接続します。

#### 電源ハーネスの配線方法

- ① イグニッションキーをONの位置にした時、12Vとなる配線をテスターを使用して見つけ、電源ハーネスの赤線をハンダ付けします。
- ② 電源ハーネスの黒線をアース線にハンダ付けします。  
24ページ「ハンダ付けのやり方」参照

## 4 - 3. 配線方法



## 4-4. コントローラー部の取り付け方法

次の注意事項をよくお読みになり、理解された上で、作業を始めて下さい。

### ⚠ 警告

- ⚠ 取り付け箇所・取り付け方法は慎重に検討し、絶対に脱落や運転の妨げにならないようにして下さい。誤った取り付け箇所・取り付け方法は、**車両破損の原因や運転の妨げになる可能性があり大変危険です。**

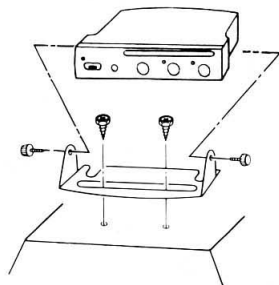
### ⚠ 注意

- ⚠ コントローラーと取り付けステーのネジ固定部には、付属のローレットネジ以外は使用しないで下さい。コントローラー内部の回路を破損する恐れがあります。
- ⚠ 本製品は、湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や、ヒーターの吹き出し口等、高温になる場所、又その近くには取り付けしないで下さい。誤作動の原因となります。
- ⚠ キリ等を使って穴を開ける際は、カバー内のハーネス等に注意し、穴を開けすぎないようにして下さい。

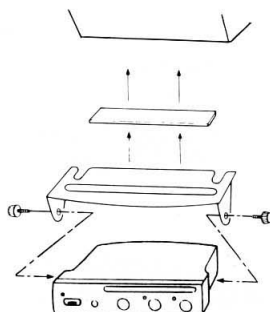
### お願い

- ・両面テープを貼る面は、中性洗剤を使って、よごれ、油分をよく拭き取って下さい。

- ①. 付属の両面テープとネジで、ステーを取り付けます。  
**曲面に取り付ける場合は、25ページ参照。**
- ②. 接続ハーネスの2ピンコネクターとコントローラー部の2ピンコネクターを接続します。
- ③. 電源ハーネスの2ピンコネクターとコントローラー部の2ピンコネクターを接続します。
- ④. コントローラー部バックパネルのセレクトターを設定します。(24ページ参照)
- ⑤. ローレットネジを使って、本体をステーに取り付けます。



○ネジ止めの場合



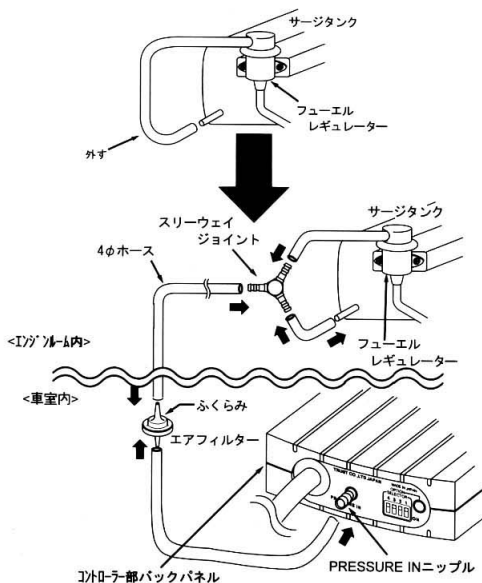
○両面テープ止めの場合

## 4-5. コントローラー部の配管方法

### ⚠ 注意

- ⚠ エアフィルターの位置や向きは、必ず指定通りに、取り付けて下さい。又、フィルターの汚れや目詰まりは、圧力がセンサーに正確に伝わらなくなり、誤作動を引き起こす原因となります。使用中はフィルターの汚れに十分注意して下さい。フィルターの汚れがひどい場合には、新しいエアフィルターと交換して下さい。
- ⚠ ホースを配管する際は、ホースがつぶれたり、よじれたりしないように注意して下さい。

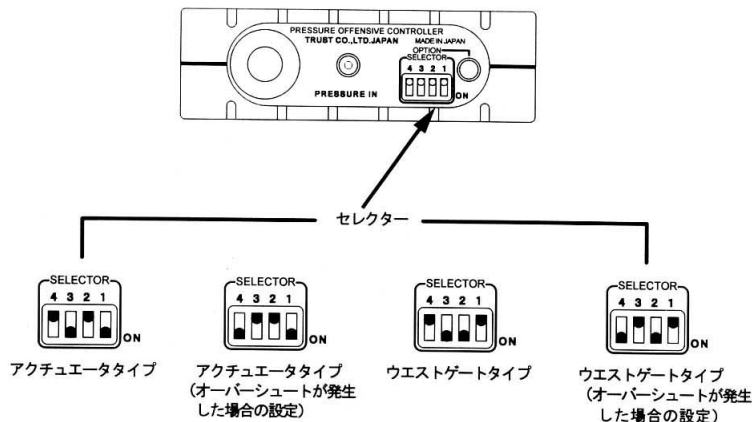
- ① エンジンルームの仕切り板に4φホースを通せる穴を見つけるか、ない場合には穴を開け4φホースを通します。穴の切り口は、必ずグロメット等を使用し4φホースを保護して下さい。
- ② サージタンクとフューエルレギュレーター間のバキュームホースをサージタンク側で外し、下記の図を参考に、付属の4φホースを使って配管し、4φホースを遊ばないように付属のタイラップで固定します。





## 4-6. セクターの設定

コントローラー部バックパネルのセクターを、付属の調整用ドライバーを使用して、次のように設定して下さい。



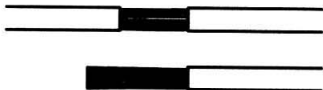
### ⚠ 注意

⚠ セクターの設定は、絶対に間違わないで下さい。エンジン破損の原因になります。

## 4-7. ハンダ付けのやり方

電源ハーネスと車両側のアース線、イグニッションキーONで12Vとなる配線を以下の手順でハンダ付けして下さい。

- ① 配線の被覆を剥く。



- ② 剥いた配線を巻き付ける。



- ③ ハンダを盛る。  
(ハンダがよく浸透したのを確認する。)



- ④ 絶縁テープをしっかりと巻く。



最終仕上げとして、以下の項目を必ず確認して下さい。

- ・取り付け配線、配管が、確実に接続されているかも一度確認して下さい。
- ・取り付け配線、配管が、運転操作の妨げにならないように、きちんとまとめられ、固定されているかも一度確認して下さい。
- ・コントローラー部が、運転の妨げにならないように、確実に固定されているかも一度確認して下さい。
- ・本製品の取り付けの際に取り外した、車両側の内装、ハーネス類が、元通りに戻されているかも一度確認して下さい。

### ⚠ 警告

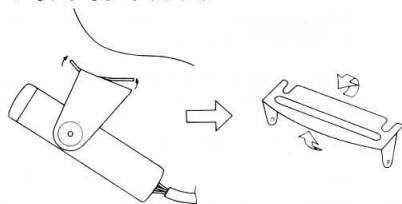
⚠ 作業終了後は必ず、運転席の足下に何も無いことを確認して下さい。運転席の足下に空き缶や使用した工具等があると、ブレーキペダルの下にはさまり、ブレーキ操作が出来なくなる等の恐れがあり大変危険です。

- ・バッテリーのマイナス端子を、外れないように、しっかりと取り付け、ボンネットを確実に閉めて下さい。

以上で、全ての取り付け作業は終了です。

### 曲面への取り付け方法

曲面に取り付ける場合は、右図のようにステーの一部を曲面に合わせて曲げると、接着力が強くなります。



## 5. 操作方法

次の注意事項をよくお読みの上、理解されてから本製品をご使用下さい。

### 警告

- ⚠️ 取り付け車両を扱う場合は、取り付け車両付属の取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全に運転、管理して下さい。自動車は、誤った扱い方をすると、**思わぬ人身事故等を引き起こす恐れがあります。**

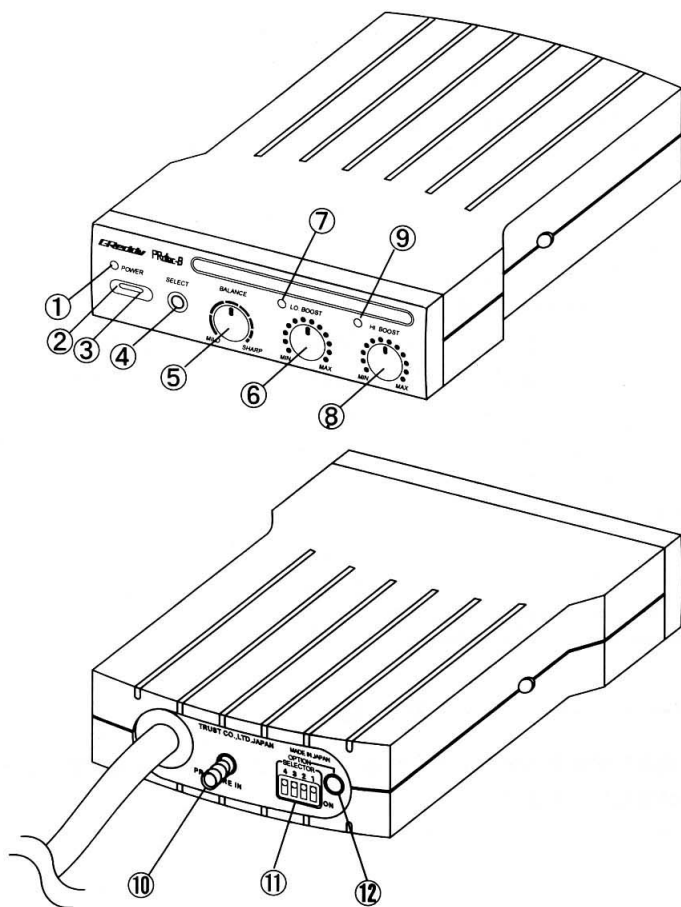
### 注意

- ⚠️ 本製品を取り付けて、ノーマルブースト以上に過給圧を上げる場合、ブーストの上げすぎには十分に注意して下さい。ブーストの上げすぎは、エンジン破損等を引き起こす可能性があります。本製品の使用によって引き起こされたエンジンの破損等の損害に関しては当社は一切の責任を負うことが出来ません。ご使用されるエンジンの仕様にあった調整を行って下さい。
- ⚠️ 本製品はブーストを $2.0\text{kg}/\text{cm}^2$ 以上には上げることが出来ません。ブーストを $2.0\text{kg}/\text{cm}^2$ 以上に上げる場合は、GReddy PRofec (定価¥59,500)をお奨め致します。
- ⚠️ 本製品を取り付けて、セッティングを行う際は、必ず、GReddy ターボメーター等を取り付けて、**ブースト値を確認しながら行って下さい。**
- ⚠️ コントローラー部バックパネルのOPTION端子には、指定のもの以外、差し込まないで下さい。本製品の破損、誤作動の原因となります。

### お願い

- ・本製品は競技専用部品です。公道では道路交通法等の法規に準じた走行が義務付けられます。

## 5 - 1. 各部の名称



## 5 - 1. 各部の名称

### ①POWER L.E.D

- ・POWERスイッチがONの状態の時に点灯します。

### ②POWERスイッチバックライト

- ・イグニッションキースイッチがONの状態では、POWERスイッチのON/OFFにかかわらず、このライトは点灯しています。

### ③POWERスイッチ

- ・電源をON/OFFすることが出来ます。

### ④SELECTスイッチ

- ・LO,BOOSTモードとHI,BOOSTモードを切り替える時に使用します。

### ⑤BALANCEボリューム

- ・ブーストの立ち上がりの速さを調節します。

### ⑥LO,BOOSTボリューム

- ・LO,BOOSTモード選択時、任意のブースト値を設定する時に使用します。

### ⑦LO,BOOST L.E.D

- ・LO,BOOSTモード選択時に点灯します。

### ⑧HI,BOOSTボリューム

- ・HI,BOOSTモード選択時、任意のブースト値を設定するときに使用します。

### ⑨HI,BOOST L.E.D

- ・HI,BOOSTモード選択時に点灯します。

### ⑩PRESSURE IN ニップル

- ・4φホースを接続します。

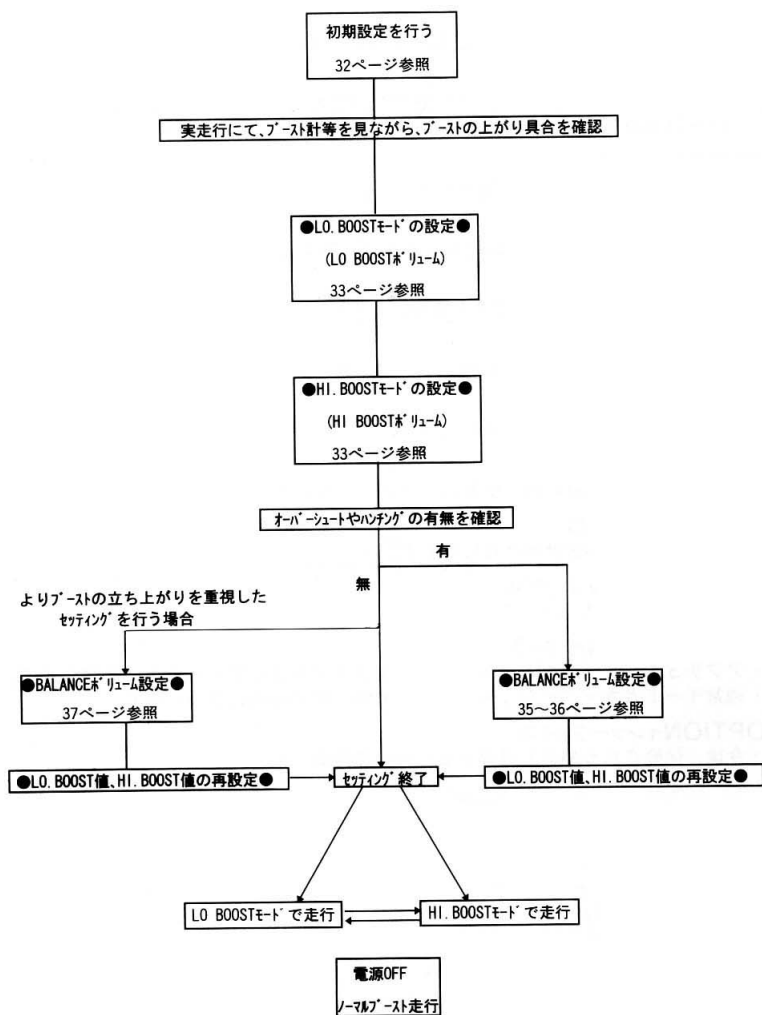
### ⑪SELECTOR(セレクター)

- ・アクチュエータタイプとウエストゲートタイプを切り替えるときに使用します。
- ・通常モードとオーバーシュートモードを切り替える時に使用します。

### ⑫OPTIONインターフェイス

- ・今後、発売される製品と通信するための接続部です。

## 5 - 2. 取り付け後の操作の流れ



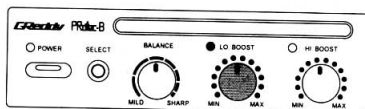
## 5-3. ブーストコントロール機能

### 2WAY BOOSTモードの説明

SELECTボタンを押すことにより、ドライバーがその場の状況に応じて、瞬時に、LO. BOOSTモードとHI. BOOSTモードを切り替えることが出来ます。

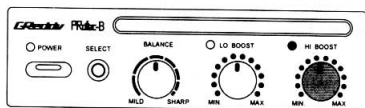
#### ●LO. BOOSTモード●

LO. BOOSTボリュームにて設定したブースト値で走行する時のモードです。



#### ●HI. BOOSTモード●

HI. BOOSTボリュームにて設定したブースト値で走行する時のモードです。



### ⚠ 注意

- ⚠ 本製品を取り付けて、ノーマルブースト以上に過給圧を上げる場合、ブーストの上げすぎには十分に注意して下さい。ブーストの上げすぎは、エンジン破損等を引き起こす可能性があります。本製品の使用によって引き起こされたエンジンの破損等の損害に関しては当社は一切の責任を負うことが出来ません。ご使用されるエンジンの仕様にあった調整を行って下さい。
- ⚠ 本製品はブーストを2.0kg/cm<sup>2</sup>以上上げることは出来ません。ブーストを2.0kg/cm<sup>2</sup>以上に上げる場合は、GReddy PRofec (定価¥59,500)をお奨め致します。
- ⚠ 本製品を取り付けて、セッティングを行う際は、必ず、GReddy ターボメーター等を取り付けて、ブースト値を確認しながら行って下さい。
- ⚠ コントローラー部バックパネルのOPTION端子には、指定のもの以外、差し込まないで下さい。本製品の破損、誤作動の原因となります。

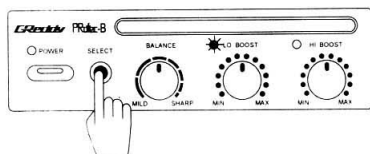
### 重 要

LO. BOOSTボリュームをMIN側(左方向いっぱい)に設定するとノーマルブーストになります。但し、車種や車の仕様によっては、ノーマルブーストにならない場合もあります。

## 5-3-1. LO. BOOSTモード使用方法

### LO. BOOSTモード使用方法

- ①. SELECT ボタンを押し、LO. BOOSTモードを選択します。  
この時、LO. BOOST L.E.Dが点灯状態となります。

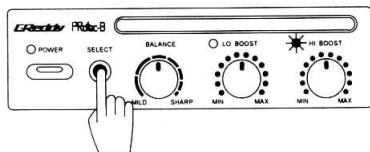


- ②. LO. BOOST値で走行出来ます。

## 5-3-2. HI. BOOSTモード使用方法

### HI. BOOSTモード使用方法

- ①. SELECT ボタンを押し、HI. BOOSTモードを選択します。  
この時、HI. BOOST L.E.Dが点灯状態となります。



- ②. HI. BOOST値で走行出来ます。



## 5-4. セッティング方法

### ⚠ 注意

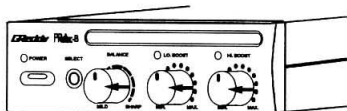
- ⚠ 本製品を取り付けて、ノーマルブースト以上に過給圧を上げる場合、ブーストの上げすぎには十分に注意して下さい。ブーストの上げすぎは、エンジン破損等を引き起こす可能性があります。本製品の使用によって引き起こされたエンジンの破損等の損害に関しては当社は一切の責任を負うことが出来ません。ご使用されるエンジンの仕様にあった調整を行って下さい。
- ⚠ 本製品はブーストを $2.0\text{kg}/\text{cm}^2$ 以上上げることは出来ません。ブーストを $2.0\text{kg}/\text{cm}^2$ 以上に上げる場合は、GReddy PRofec (定価¥59,500)をお奨め致します。
- ⚠ 本製品を取り付けて、セッティングを行う際は、必ず、GReddyターボメーター等を取り付けて、ブースト値を確認しながら行って下さい。

BALANCEボリューム、LO. BOOSTボリューム、HI. BOOSTボリュームの設定は車種や、その車の仕様により異なる為、個別のセッティングが必要となります。

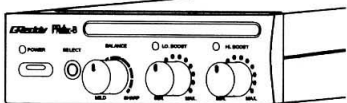
取付け後、走行される前に、必ず、以下の手順に従って設定を行って下さい。

#### 1. 初期設定を行います。

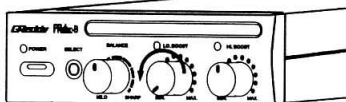
- ①. BALANCEボリューム、LO. BOOSTボリューム、HI. BOOSTボリュームを軽く押し、飛び出した状態にします。



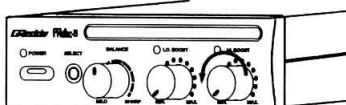
- ②. BALANCEボリュームをセンター(真ん中中央)に合わせます。



- ③. LO. BOOSTボリュームをMIN側(左方向)いっぱいまで回します。



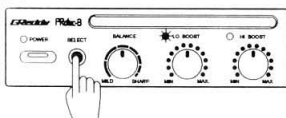
- ④. HI. BOOSTボリュームをMIN側(左方向)いっぱいまで回します。



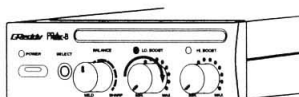
## 5-4. セッティング方法

### 2. LO.BOOSTボリュームの設定を行います。

- ①. SELECTボタンを押し、LO. BOOSTモードを選択し、LO. BOOST L.E.Dが点灯していることを確認します。

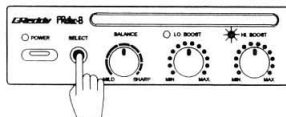


- ②. 実走行にて、ブースト計等でブーストの上がり具合を確認しながら、ボリュームを少しずつMAX側(右方向)に回していき、目標とするブースト値に設定します。

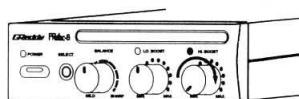


### 3. HI.BOOSTボリュームの設定を行ないます。

- ①. SELECTボタンを押し、HI. BOOSTモードを選択し、HI. BOOST L.E.Dが点灯していることを確認します。

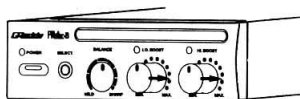


- ②. 実走行にて、ブースト計等でブーストの上がり具合を確認しながら、ボリュームを少しずつMAX側(右方向)に回していき、目標とするブースト値に設定します。



## 5-4. セッティング方法

4. 突走行にて、ブースト計等でオーバーシュート、ハンチングの有無を確認し、オーバーシュートやハンチングが発生しなかった場合は、BALANCEボリューム、LO. BOOSTボリューム、HI. BOOSTボリュームを軽く押し戻し、セッティングを終了します。



- ◎オーバーシュートが発生する場合は、「5-4-1. オーバーシュート発生時には」  
(35ページ)へ進みます。
- ◎ハンチングが発生する場合は、「5-4-2. ハンチング発生時には」  
(36ページ)へ進みます。
- ◎よりブーストの立ち上がりを重視したセッティングを行ないたい場合は、  
「5-4-3. よりブーストの立ち上がりを重視したセッティング」  
(37ページ)へ進みます。

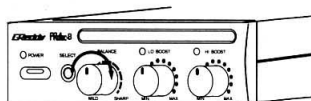
### 重 要

車種や車の仕様によっては、オーバーシュートやハンチングが消えない場合もあります。

## 5-4-1. オーバーシュート発生時には

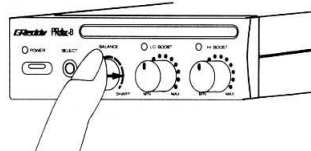
### ◎ オーバーシュートが発生する場合

- ①. BALANCEボリュームをSHARP側(右方向)に少しずつ回していき、オーバーシュートが無くなるポイントに設定します。

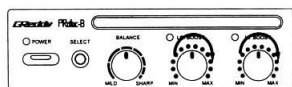


※ オーバーシュートがひどい場合には、38ページを参照し、セレクターをオーバーシュートモードに切り替えて、もう一度セッティングし直して下さい。

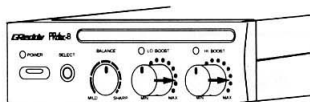
- ②. BALANCEボリュームを軽く押し戻します。



- ③. BALANCEボリュームとLO. BOOSTボリューム、HI. BOOSTボリュームは連動しています。LO. BOOSTボリューム、HI. BOOSTボリュームで設定したブースト値はBALANCEボリュームをSHARP側(右方向)に回したことによって、ブースト値が低くなっているので、BALANCEボリュームの設定ポイントが決まった時点で、セッティングの仕上げとして、必ず、LO. BOOST値、HI. BOOST値を設定し直して下さい。



- ④. 設定後、LO. BOOSTボリューム、HI. BOOSTボリュームを軽く押し戻します。



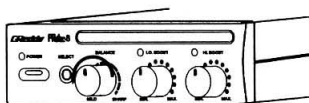
## 重 要

- BALANCEボリュームをMILD側(左方向)に回すに従って、ブーストは安定しますが、ブーストの立ち上がりは遅くなり、SHARP側(右方向)に回すに従って、ブーストの立ち上がりは速くなりますが、ハンチングが出やすくなります。
- BALANCEボリュームとLO. BOOSTボリューム、HI. BOOSTボリュームは連動しています。BALANCEボリューム設定をMILD側(左方向)へ回すと、ブースト値が上がり、SHARP側(右方向)へ回すと、ブースト値が下がります。
- 車種や車の仕様によっては、オーバーシュートが消えない場合があります。

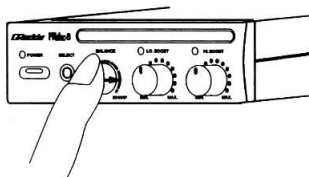
## 5-4-2. ハンチング発生時には

### ◎ハンチングが出る場合

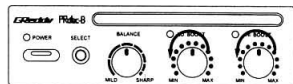
- ①. BALANCEボリュームをMILD側(左方向)に少しずつ回していき、ハンチングがなくなるポイントに設定します。



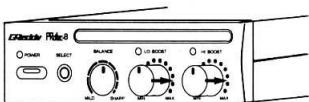
- ②. BALANCEボリュームを軽く押し戻します。



- ③. BALANCEボリュームとLO. BOOSTボリューム、HI. BOOSTボリュームは連動しています。LO. BOOSTボリューム、HI. BOOSTボリュームで設定したブースト値はBALANCEボリュームを変更したことによって、ブースト値が高くなっているため、BALANCEボリュームの設定ポイントが決まった時点で、セッティングの仕上げとして、必ず、LO. BOOST値、HI. BOOST値を設定し直して下さい。



- ④. 設定後、LO. BOOSTボリューム、HI. BOOSTボリュームを軽く押し戻します。



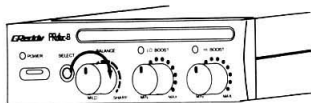
## 重 要

- BALANCEボリュームをMILD側(左方向)に回すに従って、ブーストは安定しますが、ブーストの立ち上がりは遅くなり、SHARP側(右方向)に回すに従って、ブーストの立ち上がりは速くなりますが、ハンチングが出やすくなります。
- BALANCEボリュームとLO. BOOSTボリューム、HI. BOOSTボリュームは連動しています。BALANCEボリューム設定をMILD側(左方向)へ回すと、ブースト値が上がり、SHARP側(右方向)へ回すと、ブースト値が下がります。
- 車種や車の仕様によっては、ハンチングが消えない場合もあります。

## 5-4-3. よりブーストの立ち上がりを重視したセッティング

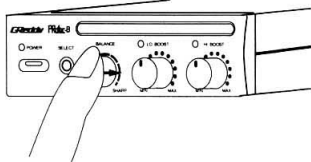
### ◎よりブーストの立ち上がりを重視したセッティングを行いたい場合

- ①. BALANCEボリュームをSHARP側(右方向)に少しずつ回していき、ハンチングが発生する直前のポイントに設定し、ブーストの立ち上がりを良くします。

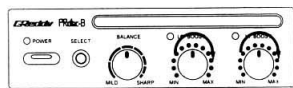


※BALANCEボリュームをSHARP側(右方向)に回しすぎると、ハンチングが発生するので、ご注意ください。

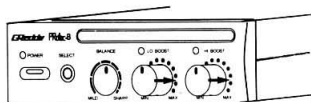
- ②. BALANCEボリュームを軽く押し戻します。



- ③. BALANCEボリュームとLO. BOOSTボリューム、HI. BOOSTボリュームは連動しています。LO. BOOSTボリューム、HI. BOOSTボリュームで設定したブースト値はBALANCEボリュームを変更したことによって、ブースト値が低くなっているため、BALANCEボリュームの設定ポイントが決まった時点で、セッティングの仕上げとして、必ず、LO. BOOST値、HI. BOOST値を設定し直して下さい。



- ④. 設定後、LO. BOOSTボリューム、HI. BOOSTボリュームを軽く押し戻します。



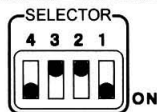
## 重 要

- BALANCEボリュームをMILD側(左方向)に回すに従って、ブーストは安定しますが、ブーストの立ち上がりは遅くなり、SHARP側(右方向)に回すに従って、ブーストの立ち上がりは速くなりますが、ハンチングが出やすくなります。
- BALANCEボリュームとLO. BOOSTボリューム、HI. BOOSTボリュームは連動しています。BALANCEボリューム設定をMILD側(左方向)へ回すと、ブースト値が上がり、SHARP側(右方向)へ回すと、ブースト値が下がります。

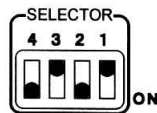
## 5-5. オーバーシュートモード

タービンやアクチュエータ、ウェストゲート特性により、オーバーシュートが発生してしまう場合があります。

このような場合には、付属の調整用ドライバーを使用し、右の図の様に、セレクターの設定をオーバーシュートモードに切り替えてセッティングをやり直して下さい。



アクチュエータタイプ  
(オーバーシュートが発生した場合の設定)



ウェストゲートタイプ  
(オーバーシュートが発生した場合の設定)

### ⚠ 注意

⚠ セレクターの設定は、絶対に間違わないで下さい。エンジン破損の原因になります。

## 5 - 6. ボリューム設定の早見表


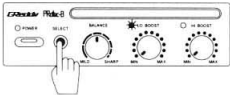
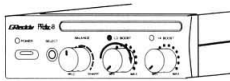
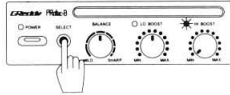
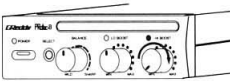
### 設定方法

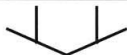
<p><b>BALANCE</b>ボリューム</p>	<p>BALANCEボリュームを軽く押し、飛び出した状態にします。 実走行にて、ブースト計等で、ブーストの上がり具合を確認します。</p> <p>オーバーシュートやハンチングが出ない場合は、BALANCEボリュームを、SHARP側(右方向)に回し、ブーストの立ち上がりを良くします。</p> <p>オーバーシュートが出ている場合は、BALANCEボリュームをSHARP側(右方向)へ、回します。</p> <p>ハンチングが出ている場合は、BALANCEボリュームをMILD側(左方向)へ、回します。</p> <p>BALANCEボリュームを軽く押し込みます。</p>	
<p><b>LO.BOOST</b>ボリューム</p>	<p>SELECTボタンを押し、LO. BOOSTモードを選択し、LO. BOOST L.E.Dが点灯していることを確認します。</p> <p>LO. BOOSTボリュームを軽く押し、飛び出した状態にします。</p> <p>実走行にて、ブースト計等で、ブースト値を確認しながら、LO. BOOSTボリュームを回して設定します。</p> <p>LO. BOOSTボリュームを軽く押し込みます。</p>	
<p><b>HI.BOOST</b>ボリューム</p>	<p>SELECTボタンを押し、HI. BOOSTモードを選択し、HI. BOOST L.E.Dが点灯していることを確認します。</p> <p>HI. BOOSTボリュームを軽く押し、飛び出した状態にします。</p> <p>実走行にて、ブースト計等で、ブースト値を確認しながら、HI. BOOSTボリュームを回して設定します。</p> <p>HI. BOOSTボリュームを軽く押し込みます。</p>	



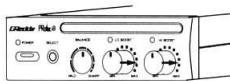
## 5-7. セッティング方法の早見表

### 設定方法

<p>① BALANCEボリューム、LO,BOOSTボリューム、HI,BOOSTボリュームを軽く押し、飛び出した状態にし、右図の位置に設定します。</p>	
<p>② SELECT ボタンを押し、LO,BOOSTモードを選択し、LO,BOOST L,E,Dが点灯していることを確認します。</p>	
<p>③ 実走行にて、ブースト計等でブースト値を確認しながら、LO,BOOSTボリュームを少しずつMAX側(右方向)に回し、目標とするブースト値に設定します。</p>	
<p>④ SELECTボタンを押し、HI,BOOSTモードを選択し、HI,BOOST L,E,Dが点灯していることを確認します。</p>	
<p>⑤ 実走行にて、ブースト計等でブースト値を確認しながら、HI,BOOSTボリュームを少しずつMAX側(右方向)に回し、目標とするブースト値に設定します。</p>	
<p>⑥ 実走行にて、ブースト計等で、オーバーシュートやハンチングの有無を確認します。</p>	
<p>⑦</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オーバーシュートやハンチングが発生せず、このままの状態 でセッティングを終了させる場合は、[A] へ</li> <li>・オーバーシュートやハンチングが発生せず、よりブーストの 立ち上がりを重視したセッティングを行ないたい場合は[B]へ</li> <li>・オーバーシュートが発生した場合は、[C] へ</li> <li>・ハンチングが発生した場合は、[D] へ 進みます。</li> </ul>	

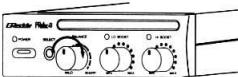
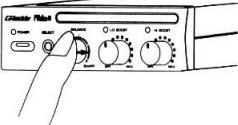




### [A]このままの状態ですべてのセッティングを終了させる場合

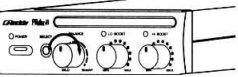
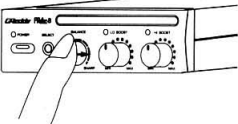

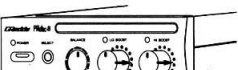
<p>BALANCEボリューム、LO,BOOSTボリューム、HI,BOOSTボリュームを軽く押し戻します。</p>	
---	---

## 5-7. セッティング方法の早見表

### [B] よりブーストの立ち上がりを重視したセッティングを行う場合

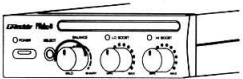
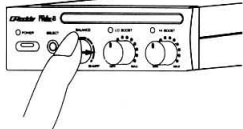
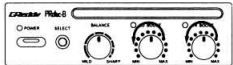
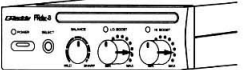
<p>BALANCEボリュームをSHARP側(右方向)に少しずつ回していき、ハンチングが発生する直前のポイントに設定し、ブーストの立ち上がりを良くします。</p> <p>※BALANCEボリュームをSHARP側(右方向)に回しすぎるとハンチングが発生しますので、ご注意ください。</p>	
<p>BALANCEボリュームを軽く押し戻します。</p>	
<p>BALANCEボリューム設定を変更したことによって、設定したLO. BOOST, HI. BOOSTの値が低くなってしまっているため、再設定します。</p>	
<p>LO. BOOSTボリューム、HI. BOOSTボリュームを軽く押し戻します。</p>	

### [C] オーバーシュートが発生する場合

<p>オーバーシュートが出る場合は、BALANCEボリュームをSHARP側(右方向)に回し、それぞれブーストが安定するポイントに設定します。</p>	
<p>BALANCEボリュームを軽く押し戻します。</p>	
<p>BALANCEボリューム設定を変更したことによって、設定したLO. BOOST, HI. BOOSTの値が低くなってしまっているため、再設定します。</p>	
<p>LO. BOOSTボリューム、HI. BOOSTボリュームを軽く押し戻します。</p>	

## 5-7. セッティング方法の早見表

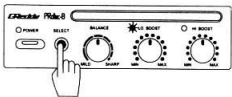
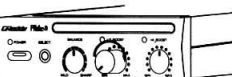
### [D] ハンチングが発生する場合

ハンチングが出る場合は、BALANCEボリュームをMILD側(左方向)に回し、それぞれブーストが安定するポイントに設定します。	
BALANCEボリュームを軽く押し戻します。	
BALANCEボリューム設定を変更したことによって、設定したLO BOOST, HI, BOOSTの値が高くなってしまっているため、再設定します。	
LO. BOOSTボリューム、HI. BOOSTボリュームを軽く押し戻します。	

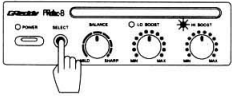
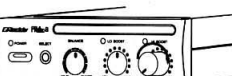
## 5 - 8. 2WAY BOOSTモード設定の早見表

### 操作方法

### LO.BOOSTモード

<p>① SELECT ボタンを押し、LO.BOOSTモードを選択し、LO. BOOST L.E.Dが点灯していることを確認します。</p>	
<p>② 実走行にて、ブースト計等でブースト値を確認しながらLO. BOOST値を設定します。 (LO. BOOSTボリュームを回して設定。)</p>	
<p>③ LO.BOOST値で走行出来ます。</p>	

### HI.BOOSTモード

<p>① SELECT ボタンを押し、LO.BOOSTモードを選択し、HI. BOOST L.E.Dが点灯していることを確認します。</p>	
<p>② 実走行にて、ブースト計等でブースト値を確認しながらHI. BOOST値を設定します。 (HI. BOOSTボリュームを回して設定。)</p>	
<p>③ HI.BOOST値で走行出来ます。</p>	

## 6. 故障かな?と思ったら…(トラブルシューティング)

以下の表を参考に、もう一度、確認して下さい。

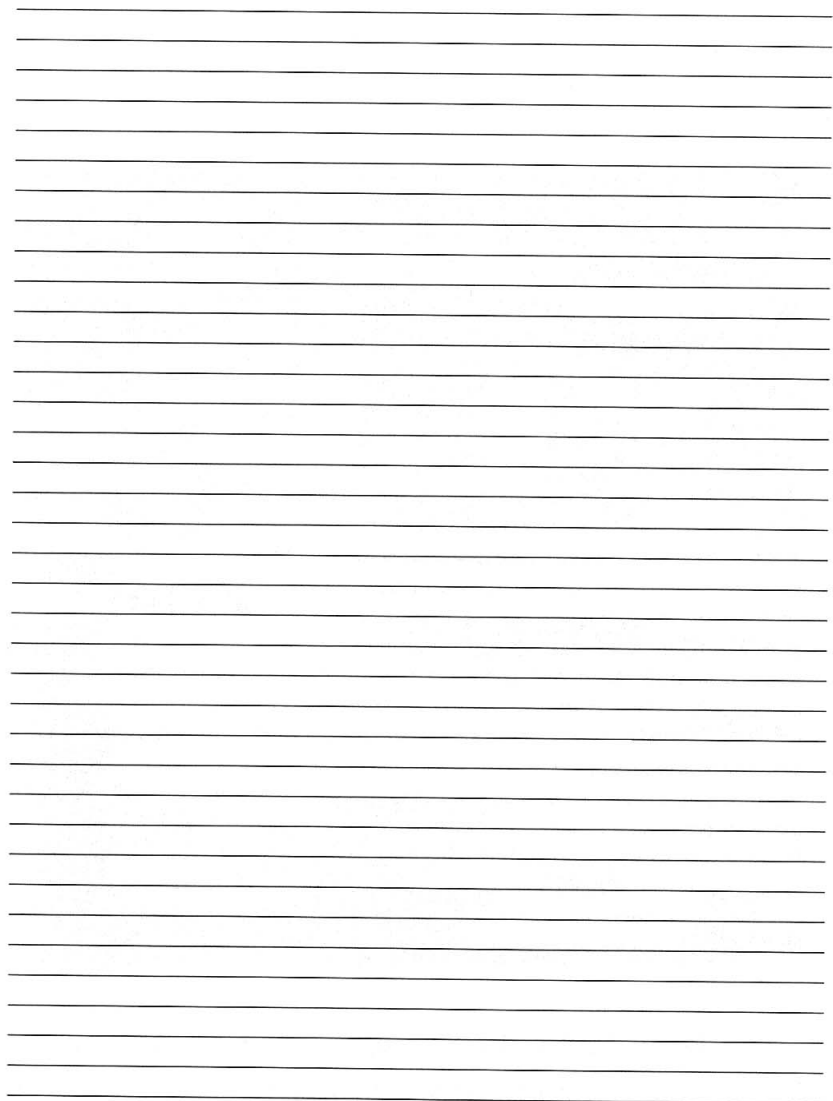
症 状	考えられる原因	対 処 方 法
① POWERスイッチを何度押ししても電源が入らない。(L.E.D.が点灯しない)。	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源ハーネスの2ピンコネクタが確実に入っていない。</li> <li>電源ハーネスの赤線、黒線が確実に接続されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コネクタの差込を確実にを行う。</li> <li>配線のハンダ付け部分の配線場所、極性、ハンダ付け状態を確認して下さい。 ※エレクトロタップは使用しないで下さい。</li> </ul>
② ブーストが設定値迄、上がらない。又は、上がりすぎてしまう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>その車両に合ったPROtec B SPECのセッティングが行われていない。</li> <li>モーター部が排気管等、高温となる場所に設置されている。</li> <li>コントローラー部が温気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や、ヒーターの吹き出し口等、高温になる所、又その近くに取り付けられている。</li> <li>バキュームホースの配管場所が違う。</li> <li>BALANCEポリウム設定を変更したことにより、LO.BOOSTモード、HI. BOOSTモードの値が変わってしまっている。*</li> <li>エアフィルターがひび割れ、変形、目詰まりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>PROtec B SPECのセッティングをやり直して下さい。32～37ページ参照。</li> <li>モーター部をエアクリーナーの近く等、風通しの良い場所に取り付けて下さい。</li> <li>コントローラー部をグローブボックス内等の日陰となる、涼しい場所に取り付けて下さい。</li> <li>バキュームホースの配管を確認してホースバンドで確実に接続して下さい。</li> <li>LO. BOOSTポリウム、HI. BOOSTポリウムを再設定して下さい。</li> <li>エアフィルターを新しいものと交換して下さい。</li> </ul>
③ 高いブーストがかかっている時、ブーストが安定しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>アクチュエータ、ウエストゲートの限界である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アクチュエータ、ウエストゲートの仕様を変えて下さい。</li> </ul>
④ オーバーシュートが発生する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>BALANCEポリウムをMILD側(左方向)に回し過ぎている。</li> <li>車両特性上のものである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>BALANCEポリウムをSHARP側(右方向)に回し、オーバーシュートが無くなるポイントに設定して下さい。 ※オーバーシュートがひどい場合は、コントローラー部背面のセレクターをオーバーシュートモードにして下さい。38ページ参照。</li> <li>一部の車種では、BALANCEポリウムを調整してもオーバーシュートが消せない場合があります。</li> </ul>
⑤ ハンチングが発生する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>BALANCEポリウムをSHARP側(右方向)に回し過ぎている。</li> <li>車両特性上のものである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>BALANCEポリウムをMILD側(左方向)に回し、ハンチングが無くなるポイントに設定して下さい。</li> <li>一部の車種ではBALANCEポリウムを調整しても、ハンチングが消せない場合があります。</li> </ul>

## 7. アフターサービスについて

- ・本製品について、何かご不明な点がございましたら、弊社までご連絡下さい。
- ・付属されている保証書は、大切に保管して下さい。
- ・新品をお買上げの時点で、保証書の製品番号と本体付属の製品番号が異なる場合は、お手数ですが、お買上げ店、又は弊社までご連絡下さい。
- ・万一、ご購入年月日より1年以内に、当社の責任と認められる故障を生じた場合は、保証書とあわせて製品を提示下されば、無償修理を致します。
- ・保証期間経過後の修理、又、お客様の不注意により、修理が必要になった場合でも、お気軽に弊社までご連絡下さい。

株式会社トラスト 本社

〒289-16 千葉県山武郡芝山町大台3155番5 TEL.0479(77)3000



---

***TRUST***

株式会社トラスト 〒289-16 千葉県山武郡芝山町大台3155番5 TEL.0479(77)3000

第1版 平成9年2月印刷

**TRUST CO.,LTD.**

MADE IN JAPAN.

---